

SHEIKH MUSZAPHAR SHUKOR

Orthopaedic Surgeon and The First Malaysian Astronaut

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Asia
- Astronaut
- Motivation
- Technology

シェイク・ムザファー・シュコール（1972年7月27日生まれ、マレー、クアラルンプール）、マレーシア人として初めて宇宙に行った整形外科医。シェイク博士は、2006年の初めにマレーシアのアンカサワン宇宙飛行プログラムの11,435人の候補者から選ばれました。彼は、国際第16次長期滞在クルーと一緒にロシアのソユーズ車両を介して国際宇宙ステーションに搭乗しました。

シェイクは、インドのマニパルにあるカスターバ医科大学で医学と外科の学位を取得しました。彼はまた、マレーのクアラルンプールにあるケバンサーン大学で整形外科の高度な学位を取得し、ケバンサーン大学マレーシア病院で整形外科医になりました。彼は2006年に、マレーシアの宇宙飛行プログラムであるアンカサワンに参加する11,000人の応募者の中から選ばれました。アンカサワンは、マレーシアが18機のロシアの戦闘機を購入し、ロシアが国際宇宙ステーションISSへのミッションでマレーシアの宇宙飛行士を訓練および飛行するよう手配したマレーシアとロシアの合意の産物でした。

マレーシアのマスコミが彼の10日間の旅の準備を追ったとき、シェイクは国民的有名人になりました。2007年10月10日、シェイクはカザフスタンのバイコヌールコスモドローームからソユーズTMA-11のISSに向けて、ロシアのユーリマレンチェンコ司令官と米国の航空機関士ベギーウィットソンと共に打ち上げられました。彼は宇宙でラマダンを観察する最初のイスラム教徒になるという課題に直面しました。

地球を24時間ごとに16回周回する船で毎日の儀式を行うことの難しさを支援するために、マレーシア政府は150人の聖職者と科学者を集め、国際宇宙ステーションでイスラム儀式を行うためのガイドラインというタイトルの小冊子を作成しました。シェイクは、宇宙ステーションに乗っている間、国際宇宙ステーションISSに乗って、肝臓がんと白血病細胞の特性と成長に関する実験を行い、無重力状態でのさまざまなタンパク質と微生物の結晶化を研究しました。彼はビデオを録画し、それを学童に向けました。彼は10月21日にソユーズTMA-10に乗って地球に戻った。

国際的な面では、シェイク・ムザパハールの動機付けの話が最近、米国カリフォルニア州、ジャカルタとバンドン、インドネシア、ブルネイ、シンガポール、サウジアラビア、ヨルダン、オランダで聞かれました。彼はメイク・ア・ウィッシュ財団の大使であり、国連世界平和大使であり、他の多くの功績の中でもとりわけ、シューライスラム評議会、カリフォルニア平和賞を受賞しています。